Ⅰ　みんなでまちづくり

自治会について

・自治会ってなんだろう

自治会は、同じ地域に住む人たちで自主的に運営を行う、みんなのための組織です。

私たちが暮らす地域には、子どもから高齢者まで、たくさんの人達が暮らしています。考えや意見は様々かと思いますが、「安全・安心な暮らし」「快適な暮らし」は、地域に暮らすだれもが望んでいることではないでしょうか。

しかし、個人や各世帯でそれを実現するのは困難且つ限界があります。

そこで、住民同士が住みよいまちの実現のために、話し合いをし、協力し合って活動する、それが自治会です。

・自治会の重要性

都市化の進展や更なる少子高齢化、住民意識や価値観の多様化など、地域社会を取り巻く環境が大きく変化し、地域の結束力は弱まりつつあるといわれています。自治会の活動を行う中でも、困難を感じることがあるかもしれません。

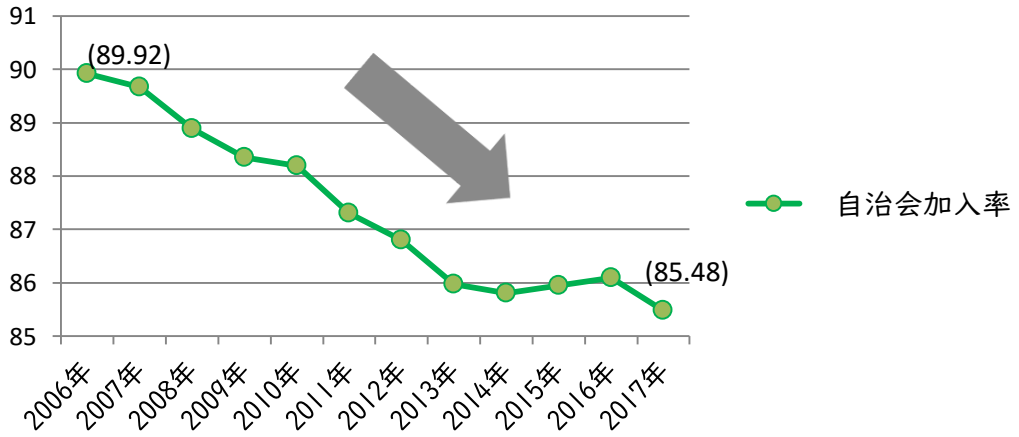
しかし、あらゆる世代がこれからも住み慣れたまちで安心して暮らし続けるためには、そこに住む人達が、互いに支えあい、助け合いながら、様々な課題を解決し、弱まりつつあるつながりを維持・再生していくことが必要です。

今のような時代だからこそ、自治会の役割はますます重要になっています。

熊本市の自治会の現状

市内には自治会が917あり、271,581世帯が自治会に加入しています。加入率は85.48%ですが、核家族や高齢者1人暮らし、マンション暮らしの増加などにより、減少傾向にあります。

（平成29年4月1日現在）



・どんな活動をしているの？

住みよいまちの実現のために、様々な活動や行事が行われています。

防災

・地域の災害危険箇所の把握
・防災訓練
・情報の収集及び伝達　等

広報・回覧

福祉活動

・子ども会活動の支援
・高齢者見守りや生活支援 等

防犯

・パトロール
・防犯灯の設置と維持管理
・登下校時の子どもの見守り　等

親睦・交流

・お祭り
・スポーツ大会（運動会など）
・文化活動（文化祭など）
・世代間交流活動 等

環境美化・清掃

・ごみステーションの管理
・公園・道路などの清掃活動
・廃品回収　　等

自治会の設立について

大規模マンションが新たに建設された場合などには、新たに自治会を設立するケースがあります。各区総務企画課及びまちづくりセンターでは、設立の手続きや流れについてご説明致します。お気軽にご相談ください。

1　みんなでまちづくり

校区自治協議会について

・まちづくりの連携

自治会活動をするなかで、「もっと規模を大きくしたい」　「もっと効率的に取組めないかな」などと感じることがあるかもしれません。

地域の課題の中には、１つの自治会だけでは解決が難しいこともあります。そんなとき、校区で連携し、みんなで取り組めば、活動の幅も参加者もぐっと広がります。

・校区自治協議会とは

校区自治協議会は、自治会のほか、校区で分野別の活動を行っている団体などで構成されます。

防犯・防災、子ども、環境、福祉など地域のさまざまな事柄についてみんなで話し合い、校区の運営を行っています。

校区自治協議会のイメージ

・校区自治協議会の予算

校区自治協議会が校区でさまざまな事業を展開していくには、ある程度の経費（予算）が必要です。

多くの校区自治協議会は、自治会が住民から集めた会費からの負担金や、本市からの補助金（校区自治協議会運営補助金）などで必要な経費を賄っています。

・校区自治協議会の組織

各校区自治協議会は、以下のような校区内で活動する団体により構成されます。校区によって違いもありますが、それぞれの団体が、主体性を生かしながら連携しています。

校区自治協議会の構成団体

- まちづくり委員会
- コミュニティセンター運営委員会
- 社会福祉協議会
- 青少年健全育成協議会
- 防犯協会
- 民生児童委員協議会
- 老人クラブ
- 地域公民館
- 子ども会
- PTA
- 女性の会（地域婦人会）
- 公園愛護会
- 交通安全協会
- 体育協会
- 消防団分団
- 自治会連合会（町内自治会）

・・・etc.